

育成すべき資質・能力の 三つの柱	大泉の自主・自律・創造	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
知識・技能 何を理解しているか 何ができるか	興味関心をもち、 課題を発見する力	美術に興味関心をもつことができない。	与えられた課題のいずれかには興味関心をもつことができる。	与えられた課題を問わず広く興味関心をもつことができる。	幅広い分野で美術に興味関心をもち、自ら課題を発見することができる。	幅広い分野に興味関心をもち、自ら課題の本質を発見し興味を持続することができる。
	自分の可能性を信じ、 やり抜く力	課題に対して取り組むことができない。	与えられた課題に取り組むことができる。	難しい課題に対しても諦めずに取り組み続けることができる。	難しい課題に対しても諦めずに取り組み課題解決の問題・発見をすることができる。	どんな課題に対しても工夫・発見をすることで深いところまで考え解決することができる。
	挑戦する力	課題に対して挑戦することができない。	与えられた課題に対して、挑戦しようとするができる。	与えられた課題に対して、前向きに挑戦することができる。	自ら発見した問題・課題に対して、挑戦することができる。	自ら発見した複数の問題・課題に対して、挑戦することができる。
思考力・判断力・表現力等 理解していること・できることを どう使うか	解決に向けて 論理的に思考する力	課題を自分で考えることができない。	課題を自分で考えることができる。	課題をアイデアスケッチにおこすことができる。	課題のアイデアを導くだけでなくその工程についても考えることができる。	自分のアイデア・工程を他者にわかりやすく説明することができる。
	自他の違いを認め、 思いやる力	自分と他者との課題の違いをを正しく把握することが出来ない。	自分と他者との課題の違いをを正しく把握することができる。	自分と他者との違いを肯定し尊重することができる。	自他の考え方や生き方を尊重し説明することができる。	自他の考え方や良さの違いを尊重し認め合うことができる。
	学びを実践に移す力	何が自分の課題であるのか把握できない。	課題や想像力をアイデアスケッチ等で形におこすことができる。	課題や想像力をアイデアスケッチ等で形におこす意識することができる。	美術で学んだことを実生活に生かし、実感することができる。	美術で学んだことを自らの生き方に繋げることができる。
学びに向かう力・人間性等 どのように社会・世界と関わり、 よりよい人生を送るか	自ら学びを継続する力	与えられた課題に対する準備ができない。	与えられた課題の準備に取り組むことができる。	自ら課題に取り組むことができる。	自ら意欲的に課題に取り組む、その学びを継続することができる。	課題から発展した内容について自ら学び続けることができる。
	多様な人々と協働する力	グループワークに消極的で参加できない。	グループワークに参加できる。	グループワークに積極的に参加できる。	グループワークに積極的に参加し、他者と意見交換できる。	グループワークに自ら積極的に参加し、他者の意見を共感し認め合う事ができる。
	自己実現に向かう力	目標や自己課題を持つことが出来ない。	目標や自己課題を持ち、問題・課題に取り組むことができる。	自ら目標や自己課題を定め、問題・課題に取り組むことができる。	自らの目標や自己課題を達成するために計画性を持ち、問題・課題に取り組むことができる。	自らの目標や自己課題を達成するために、計画性を持ち、試行錯誤しながら問題・課題に取り組むことができる。